

# あんなこと、こんなこと

関市イメージキャラクター  
「関☆はもみん」



12月1日～15 日にあった  
市内の話題を中心に  
ご紹介します。

## 学びの祭典盛大に

12月2日、わかくさ・プラザで20回目となる「SEKI いきいきフェスタ」が開催されました。「きて、みて、体験しませんか」を合言葉に、市内で生涯学習に取り組む56団体が集結し、日ごろの練習の成果を発揮しました。軽快なキッズダンス、陽気なフラダンスなどのステージや日本画や切り絵などの展示、凧やカレンダー作りの体験コーナーなど、大勢の市民や親子連れでにぎわいました。生涯学習に関心を持って、これから取り組もうとしている人たちのきっかけづくりにもなりました。



## 輝く光のアート

今年で3回目となる真冬の祭典「イルミネーションコンテスト」が市役所南・市民広場で11月下旬から開催され、40点以上の作品が展示されました。大小さまざまな、色とりどりのイルミネーション作品が設置され、冬空の下で幻想的な灯りが灯されました。期間中は大勢の来場者があり、数々の光が美しくきらめき、自然と光が奏でる素敵な共演に、大人も子どもも時間を忘れて見入っていました。



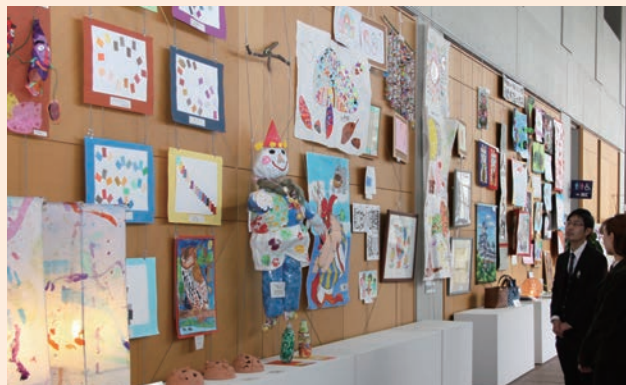
## 療育施設設立周年を祝う

市内の児童療育施設が、それぞれ関市養護訓練センター40周年・武芸川ことばの教室20周年・中之保親子教室15周年を迎えるにあたり、家族が安心して生活していくために、地域と関係機関との連携の大切さをいま一度考えようと12月9日、記念式典と合わせ、講演会が開催されました。講演で、肥後島根大学副学長が「障がいの有無に関わらず、子どもの発達のために長期的な視点で支援を」と呼びかけました。



## 木の造形 創造力豊かに

2012 ぎふ・関全国子ども木の造形作品コンクールの作品展示が12月8日～16日の6日間、関市文化会館でありました。市子ども文化事業実行委員会が子どもたちの創造力を育てようと隔年で開催。今年は全国各地から個人、共同作品合わせて約600点の応募がありました。会場には、木の持つ色や形の面白さを考えて表現したユニークな作品がずらりと並べられ、来場者は足を止めてじっくりと眺めていました。



## 個性が光るふれあい作品

12月3～9日の障害者週間に合わせて、市障害者団体連合会の主催で「障がい者ふれあい作品展」が、わかくさ・プラザで開かれました。自立と社会参加を目指す障がい者の持つ能力の素晴らしさを伝えようと、毎年開催されています。作品は、絵画や書道、手芸など128点で、手作りの温かみがあるものばかり。個性あふれる自作の詩集や和紙の灯りアートなど、来場者は多くの作品に見入っていました。



## 大地震への備えはえーか

上白金公民館で12月8日、防災・危機管理講座が開催され、地域住民約150人が参加して、地震や風水害への対策について意識の高揚を図りました。地元の一級建築士が耐震補強のポイントを説明したり、市職員が「自助・共助」の大切さなどを紹介。また、地元役員が寸劇を交えて講演し、自分、火の元、家族は「えーか（大丈夫かの意）」として、日ごろどういう心構えで備えたらよいかを呼びかけました。



## 鼓笛の心と技を伝授

安桜小学校で12月7日、小太鼓やトランペットなどの鼓笛の引き継ぎ終了式が行われました。6年生と5年生が「師弟関係」を結び、演奏技術を伝えつないでいく30年以上続く伝統行事です。この日まで、総合学習の時間や昼休みなどを利用して個別指導してきました。終了の証として、5年生が校歌など2曲を披露。6年生が見守る中で、緊張しながらも迫力のある見事な音色を会場に響かせました。

## こぼれ話

皆さん、明けましておめでとうございます。2012年は、皆さんにとって良い年でしたでしょうか。

昨年の関市では、何ととってもぎふ清流国体・ぎふ清流大会があり、市民総参加の大会として盛大に開催することができました。また、中池公園陸上競技場も全天候型の競技場として生まれ変わりました。そして、国道248号関バイパス開通や津保川診療所開設など、関市が新たな一歩を踏み出した年になったのではないのでしょうか。本紙4～5ページにも1年の主な出来事を掲載していますので、ぜひご覧ください。

振り返ってみると、「日本一しあわせなまち、関市を市民の手で創ろう」を掲げ、市民の皆さんのご協力をいただきながら、さまざまな取り組みを行ってきました。

この中で強く感じたことは、新たな取り組みを提案していくということは、大変だけれど面白いということです。2012年に新しく踏み出しただけでは終わらせず、さらなる発展が出来るよう、気持ちを新たに引き続き努めていきたいと思います。

<お知らせ>今月から「広報せき」が月1回発行に変わります。今までの15日号の発行はありませんので、皆さんお気を付けください。

